～宮大生のための交換留学～

中国・上海交通大学留学報告

教育文化学部　村永かおる

〇留学先:　中国･上海交通大学　国際教育学院

〇留学期間:２００９年９月～２０１０年７月(前期９月～１月、後期３月～７月)

〇渡航時の学年:　３年次

〇渡日前の手続について

･留学に至った経緯について:

初修外国語で中国語を学習していたこと、中国関係のゼミを選択しもっと中国について知りたい、調べたいと思っていたから。また上海はちょうど万博開催もあったので、急速に発展していく様を自分の目で見てみたいと思ったから。

･大学での手続について:

留学の申し込み手続き→入学許可書、履歴書などの提出。

JASSO奨学金の停止手続き→渡航前と帰国後に申請用紙の提出。

･査証取得:

旅行会社HISへ委託。

･６月（留学3か月前）･･･“外国人体格検査記録”をインターネットでコピーし、宮崎東病院へ持参し健康診断を受ける。

･７月（留学2か月前）･･･HISへ行き査証取得を委託。

必要書類→健康診断書･パスポート･カラー写真･入学通知書･申請用紙など

〇留学体験記:

〇寮の環境、費用について（私の住んでいた留学生寮 9 号棟の場合）

2 人部屋・・・35 人民元 /日 /人

トイレ、シャワー共同。エアコン、テレビ、電子レンジ、冷蔵庫、電話、インターネット接続可。

部屋にウォーターサーバーもついているので、いつでも水・お湯を使える。

寮費は、半期分ごとに約 5000 元を支払う。エアコンは別料金。寮の入り口には 24 時間警備員の方がおりとても安心して過ごせる。

〇授業　午前か午後のどちらか半日。それ以外の時間、希望者は太極拳、絵画、書道などの選択授業を受けることができる。

クラスは初級、中級、高級の三つがあり、さらにそれぞれの級で一、二、三とレベルが分かれているので、自分のレベルにあった学習ができる。また 1 つのレベルにつき、何クラスもあるのでかなり多くの留学生がいた。

私がいたクラスは 15 人ほどで、日本人は私も含め 2 人で、色々な国の方がおり年代も様々だった。大きく分けてリーディング、リスニング、スピーキングの授業があり、先生も熱心に教えて下さった。主に中国語での授業だが、不明な点は英語で説明されることもあった。

〇大学周辺の環境

国際教育学院の周辺には多くのスーパーや飲食店、デパートがあり、地下鉄も近くとても便利だった。また輸入品を多く揃えるスーパーもあり、値段は高いが日本の物を買うことも可能。上海の中でも比較的住みやすい街なので外国人の方を大勢見かけた。

〇大学のサポート
　上海交通大学は大学が大きく留学生も多いからか、サポートもとてもいいと感じた。色々な手続きの際には、日本語の話せる方もおり安心できたし、初回のビザ申請など、大学がまとめて代行してくれるのでとても助かった。
〇生活費
　寮費や手続き、また生活用品の購入なので初めの１カ月は出費が多かった。また９号棟の寮には台所がなく自炊ができないため、食事は外食がほとんどだった。１か月の生活費は２～４万円くらいかかった。
〇現地学生との交流
　上海交通大学は、本科生が通うキャンパスが新設されかなり遠く離れた所にあるため、なかなか交流の機会が少なかった。しかし、掲示板には現地学生からの語学交換を求める貼りだしがいつもされているため、友達を作ることは可能である。

〇今後、留学を希望する宮大生のみなさんへ

・留学前にすべき準備
　　海外保険の加入、予防注射の接種、国際キャッシュカードの作成など
・留学中に必要だと感じたもの
　　飲みなれた薬（風邪・腹痛・胃腸薬など）
　　Yahoo　や hotmail などメールアドレスをいくつか持っておくと便利。（時々接続できないことがあったため）